

(4)	問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	同左	・診療録に準ずる
(5)	視診は陰鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しているか	同左	・正しくは「子宮腔部の状況」という表記か。
3	細胞診の精度管理		
(1)	細胞診は、直視下に(必要に応じて双合診を併用し)子宮頸管及び腔部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(固定)した後、パパンニコウ染色を行い観察しているか	細胞診は直視下に子宮頸管及び腔部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理(塗抹・固定)しているか。	・「必要に応じて～」の意味が不明なので削除。(おそらく、子宮腔部が見えない場合に医師が子宮腔部の位置を確認することを示したと思われるが。)・(1)は受診者と接する検診機関が行う「細胞採取～塗抹固定」、(1)'は検査を委託された機関が行う「その後の処理」、に区別する。
(1)'		検診機関で採取された細胞診検体が適切に作製されているかどうか確認しているか	
(2)	細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関(施設名)を明記しているか	細胞診の業務を委託する場合は、委託先で適正に検査が行われているかどうか(精度管理状況等)を把握しているか	・委託先の精度管理状況を委託元が確認することが必要 ・海外と違って日本では立ち入り検査はできないが(法的根拠がないため)、問題があれば追求が必要。
(3)	日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行っているか ^{注1)}	同左	・連携していれば自動的に、注釈(定款付則～)の内容を理解していることになる。
(4)	細胞診陰性と判断された検体は、その10%以上について、再スクリーニングを行っているか ^{注1)} 。または再スクリーニング施行率を報告しているか	細胞診陰性と判断された検体は、その10%以上について、再スクリーニングを行っているか ^{注1)} 。または再スクリーニング施行率を報告しているか	・本来は認定施設を意識した項目。再スクリーニング施行率の報告は学会のタスクなので削除
(5)	細胞診の結果は、速やかに検査を依頼した者に通知しているか	細胞診の結果は速やかに通知しているか	・依頼した者とは「結果を受け取るべき者」を指す。これは地域によって多様で、市町村、細胞診委託元検診機関、受診者が含まれるため、敢えて限定しない。
(6)	細胞診結果の分類には、日本母性保護産婦人科医学会の分類及びBethesda systemによる分類のどちらを用いたかを明記しているか ^{注2)} 。日本母性保護産婦人科医学会の分類を用いた場合は、検体の状態において「判定可能」もしくは「判定不可能」(Bethesda systemによる分類の「適正・不適正」に相当)を明記しているか	細胞診結果には、ベセスダシステムか細胞診クラス分類のどちらを用いたかを明記しているか ^{注2)} 。	・チェックリストを作成した時期がベセスダ初期の頃だったためクラス分類と併記せざるをえなかった(判定可能/不可能も残さざるを得なかった)。 ・細胞診結果報告をベセスダシステムに統一するには猶予が必要。がん検診指針との整合性や、ベセスダに対応できていない自治体への配慮から、今回はクラス分類との併記とする。
(6)'		細胞診結果には、検体の状態に応じて「適正・不適正」(ベセスダシステムに基づく)を判定しているか	・健康増進事業報告にも項目が新設されている。

(7)	検体が適正でなく、判定できないと判断された場合には、再検査を行っているか	同左	・誰が(どこが)再検査費用を拠出するかは国から方針が示されておらず、自治体によって対応が異なる。
(8)	検体が適正でない場合はその原因等を検討し対策を構っているか	同左	特になし
(9)	がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか	同左	・過去の細胞所見が自施設に残っていないケースもある
(10)	標本は少なくとも3年間は保存しているか	同左	・受診者のためにはもっと長期間保存すべきだが、形式上他がんの3年間(胸部X線写真)と揃えて3年にする。 ・学会(の規則)では5年間保存
(11)	検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	同左	特になし
4	システムとしての精度管理		
(1)	精密検査結果及び治療 ^{注3)} 結果の報告を、精密検査実施機関から受けているか	精密検査結果(組織型、臨床進行期)の報告を、精密検査実施機関・治療機関から受けているか	・要求しているデータは「組織型や臨床進行期」であり、注3を本文に含める ・治療機関からも報告される場合がある。
(2)	診断のための検討会や委員会(第三者の子宮頸がん専門家を交えた会)を設置しているか	診断・判定の精度向上のための症例検討会が定期的に開催されているか	・本項目の根拠は臨床細胞学会のガイドラインであり、目的は診断・判定の精度向上(ex.肺がん検診のX線読影や乳がん検診マンモ読影のスキルアップのようなもの。) ・症例検討会であれば既に定期的に開催しているが、「委員会」とは何を指すのか不明。ここで必要なのは症例検討会と考えるので、明確化する。
(3)	都道府県がプロセス指標(受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)に基づく検討ができるようデータを提出しているか	都道府県がプロセス指標(受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度)に基づく検討ができるようデータを提出しているか	(4)と内容が同一のため削除
(4)	実施主体へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか	市町村へのがん検診の報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか	・実施主体を具体的に記載
注1)日本臨床細胞学会 細胞診精度管理ガイドライン参照			
注2)日本母性保護産婦人科医会の分類:日本母性保護産婦人科医会編集、子宮がん検診の手引き参照、Bethesda Systemによる分類:The Bethesda System for Reporting Cervical Cytology second editionおよびベセスダシステム2001アトラス参照			
注3)組織や病期把握のための治療など			

市区町村がん検診事業 ご担当者様

厚生労働科学研究費補助金

「標準的検診法と精度管理に係る新たなシステム
などの開発に関する研究」研究班

研究代表者 斎藤 博

平成 23 年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの
使用に関する実態調査」へのご協力依頼

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当研究班の調査にご協力頂き、誠にありがとうございます。

昨年度に引き続き、下記のとおり平成 23 年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」を実施させて頂くこととなりました。お忙しいところ大変恐れ入りますがご協力賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

調査内容：「がん検診事業評価のためのチェックリスト*」の実施状況

※ 今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書

厚生労働省HP <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/03/s0301-4.html>

ご回答方法：別添調査票の各チェックリスト項目に対し 2 択（○×式）でご回答頂き、同封の返
送用封筒にて平成 23 年 6 月 24 日迄にご返送下さい。

本調査は地域の精度管理改善を目的とした研究の一環として実施するものであり、調査結果は都道府
県へご報告させていただきます。

ご回答頂いた内容につきましては下記のように取り扱います。

- ① 研究目的以外には使用致しません。
- ② 報告書・論文において市区町村名が特定できるような結果公表は致しません。
- ③ ご回答を拒否された場合でも、そのことで不利益が生ずることはありません。

ご不明の点は下記までお問い合わせ下さい。

敬具

お問い合わせ先：

独立行政法人国立がん研究センター
がん予防・検診研究センター 検診研究部

<住所> 〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

<電話> 03-3542-2511 内線 3427 <Fax> 03-3547-5350

<E-mail> rmachii@ncc.go.jp

平成23年度
「チェックリストの使用に関する実態調査」調査票

胃がん検診

◆ 胃がん検診チェックリストにご回答いただく前にお伺いいたします。下記質問について該当するものに☑をつけてください。

【質問1】 胃がん検診を実施していますか？

実施している

実施していない*

※ を選択された場合、
次ページ以降のご回答は必要
はありません。下記署名欄を
ご記入の上、同封の返信用封
筒にてご返送ください。

【質問2】 集団検診を実施していますか？

集団検診のみ実施

集団/個別検診を両方実施

個別検診のみ実施*

【質問3】 検診方法として胃X線検査を実施していますか？

胃部X線検査のみ実施

胃部X線検査とそれ以外の方法(内視鏡検査、ペプシノゲン検査等)でも実施

胃部X線検査以外の方法で実施*

平成23年度 胃がん検診(集団検診における胃部X線検査)の体制について、
次ページよりご回答をお願いいたします。ご回答は最終ページまで空欄のないよう
ご記入ください。署名欄も忘れずにご記入ください。

ご署名欄

(他がんの調査票に記入された担当者様と同じ場合はご記入は不要です。)

都道府県名:

市区町村名:

ご所属:

ご氏名:

TEL:

E-mail:

通信欄:

指針以外の検査方法のみで実施されている場合、又は個別検診のみ実施されている場合にはご回答は不要です。

平成23年度「チェックリストの使用に関する実態調査」調査票 ＜胃がん検診＞

以下、全ての質問項目に、「○」または「×」でご回答ください
Q1-1、Q1-2、Q9-1では、○の場合は該当番号もご記入ください

Q1-1 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成しているか ○の場合は下記 ①～④のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 40歳以上の住民全ての名簿が何らかの形(紙台帳、パソコンファイル)で存在する場合 (対象者名簿は定期的に更新し、転入転出、死亡等最新の住民情報を把握する必要がある)
	○	② 住民基本台帳と連動した保健基幹システム等を利用している場合には、40歳以上の住民全てを抽出して対象者名簿に記載している場合
	○	③ 上記①②において、職場検診等の受診機会があることが 明らかかな者 のみ対象者から除外している場合 (少なくとも国保加入者は全員名簿化している、など)
	○	④ 対象者名簿の作成を外部委託している場合では、その作成方法/内容について市区町村が把握し、①～③のいずれかを満たしている場合 【上記①～③のどのケースに該当するかもお書き下さい 例:回答欄 ○ 番号 ④(④)】
	×	上記①～④以外の場合 前年度受診者や希望者のみ名簿化している場合

回答欄

番号

前問Q1-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q1-2 対象者に均等に受診勧奨を行っているか ○の場合は下記 ①～③のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 対象者個人毎 に手紙・電話・訪問等で案内(検診の通知)を行っている場合 (世帯毎ではなく 、対象者全員に行なっている場合)
	○	② 世帯毎 に手紙・電話・訪問等で案内(検診の通知)を行っている場合 (対象者全員の名前は示しているが、世帯に一通郵便(通知)等を送る場合)
	○	③ 希望調査を受診勧奨の代わりとしている市区町村においては、 対象者全員 或いは 世帯別(対象者全員の名前を記載) に希望調査を実施している場合
	×	上記①～③以外の場合 広報/チラシでの周知や、 対象者となる全員の個人名の記載がない 各世帯宛の案内、また、 節目検診 等で対象年齢を制限して勧奨している場合

回答欄

番号

Q2-1 対象者数(推計含む)を把握しているか

回答例	○	① 網羅的な対象者名簿があり、名簿を基に対象者数を把握している場合(実測値)
	○	② 前問「Q1-1」で定義した対象者名簿がなく、国立がん研究センター がん対策情報センターのホームページ ^(注) に掲載された計算式や、抽出住民へのアンケート等(国民生活基礎調査、国勢調査、県独自の調査)により対象者数を算定している場合(推計値)
	×	上記①②以外の場合

注) 別添「チェックリスト(調査票)に対する解説一覧」参照

回答欄

Q2-2 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか

回答例	○	① 前問「Q1-1」の網羅的な対象者名簿に、 個人毎 に、検診受診の有無・検診結果・精検結果を記入している場合(紙台帳でもパソコン台帳でも可) また、対象者名簿が無く、受診者のみを記録する受診者台帳を作成している市区町村においても、 個人毎 にこれらの項目が記入されている場合
	○	② 委託先検診機関等が受診者台帳を作成している市区町村においては、 委託先検診機関全ての受診者台帳について、個人毎の検診受診の有無・検診結果・精検結果の記録様式になっていることを確認している場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

前問Q2-2が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q2-2-1 受診者数を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関において</u> 、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
	×	上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-2-2 受診者数を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関において</u> 、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
	×	上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-2-3 受診者数を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関において</u> 、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
	×	上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-3 過去3年間の受診歴を記録しているか

回答例	○	① 市区町村において、 <u>個人毎の過去3年間の受診情報が把握できる場合</u> (当該年度に初めて受診した者については除く)
		② 委託先検診機関等が把握している市区町村においては、 <u>全ての機関で個人毎の3年間の受診情報が把握でき、かつその情報提供を受けている場合</u> (当該年度に初めて受診した者については除く)
	×	上記①②以外の場合 1～2年分の受診歴のみの場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q3-1 要精検率を把握しているか

回答例	○	「要精検者数」だけでなく「要精検率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q3-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q3-1-1 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること
 ※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
 精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

前問Q3-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q3-1-2 要精検率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q3-1-3 要精検率を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか
Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合 (全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q4-1 精検受診率を把握しているか

回答例	○	「精検受診者数」だけでなく「精検受診率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q4-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q4-1-1 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q4-1-2 精検受診率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q4-1-3 精検受診率を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか
Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合 (全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q2-2 「個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか」の回答が「×」の場合、下記5つの質問は「×」と記入してください

Q4-2 精検未受診率を把握しているか

回答例	○	① 市区町村が、(i)「精検受診」「未受診」「未把握」の定義 ^{※1} に従って未受診者を把握し、(ii)さらに未受診率を集計している場合 両条件が必須
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} 未受診率を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関で</u> ①(i)の定義により未受診者を把握し、かつその情報提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 特に、 <u>精検受診者数と精検未受診者数は表裏の関係にはない^{※3}</u> ので要注意

注) 別添「チェックリスト(調査票)に対する解説一覧」参照

回答欄

Q4-3 精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか

回答例	○	① 精検未受診者個人を全員特定し、個人宛に勧奨している場合
		② 委託先検診機関等が精検未受診者への勧奨を実施している市区町村においては、 <u>全ての機関において、精検未受診者全員へ</u> 勧奨している場合
	×	上記①②以外の場合 精検未受診者個人宛の勧奨ではなく、広報やチラシ等による周知のみの場合

回答欄

Q5-1 精密検査結果及び治療の結果報告を精密検査実施機関から受けているか

回答例	○	精検受診者全員の結果を回収するためのシステム ^{※3} が確立している ^{※4} 場合 回収方法 例1) 精検機関から直接市区町村へ報告 例2) 検診機関が精検/治療結果について取りまとめ、市区町村に報告 例3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会への問い合わせ	
		×	上記以外の場合

回答欄

Q5-2 過去3年間の精密検査結果を記録しているか

回答例	○	① 市区町村において、受診者台帳より個人毎の過去3年間の精検結果が把握できる場合
		② 委託先検診機関等が把握している市区町村においては、 <u>全ての機関で個人毎の過去3年間の精検結果が受診者台帳より</u> 把握でき、かつその情報提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 1~2年分の精検結果のみの場合

回答欄

Q5-3 精密検査の検査方法を把握しているか

回答例	○	精検を受診した <u>全員</u> についての精検方法を個人毎に把握する体制が確立しており ^{※4} 、台帳に記録している場合 把握方法 例1) 精検機関から直接市区町村へ報告 例2) 検診機関が精検方法を取りまとめ、市区町村へ報告 例3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会や受診者への問い合わせ	
		×	上記以外の場合

回答欄

- ※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること
- ※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様
- ※3) 精検日・受診機関・精検/治療結果の収集方法、これらの結果が届かない場合の確認方法を指す
- ※4) 精検結果/精検方法の未把握率が5%以下であること
(がん検診事業評価委員会報告書 別添資料「事業評価指標数値一覧」より また、この場合の未把握率は、同報告書 P38 の定義によるもの)

Q6-1 がん発見率を把握しているか

回答例	○	「発見がん数」だけではなく「がん発見率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合 ① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q6-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q6-1-1 がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q6-1-2 がん発見率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q6-1-3 がん発見率を過去の検診受診歴^{**1} に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-1 早期がん割合(発見がん数に対する早期がん数)を把握しているか

回答例	○	「早期がん数」だけではなく「早期がん割合(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合 ① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q7-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q7-1-1 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

前問Q7-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q7-1-2 早期がん割合を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-1-3 早期がん割合を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか
Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-2 粘膜内がんを区別しているか

回答欄

Q8-1 陽性反応適中度を把握しているか

回答例	○	「発見がん数」だけではなく「陽性反応適中度(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q8-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q8-1-1 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q8-1-2 陽性反応適中度を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

前問Q8-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q8-1-3

陽性反応適中度を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q9-1

がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか ○の場合は下記 ①②のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 地域保健・健康増進事業報告の記入要領に従って、旧老人保健事業報告で必須だった項目全てが計上できる場合(厚生労働省に直接報告する指定都市・中核市についても同様)
		② 地域保健・健康増進事業報告の記入要領に従って、新たに加わった項目(受診歴別集計、早期がん数等)も全て計上できる場合(厚生労働省に直接報告する指定都市・中核市についても同様)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

番号

Q10-1

委託検診機関の選定に際し、仕様書を作成・提出させてそれを基に判断しているか

回答例	○	① 全ての委託検診機関との間で(i)仕様書が契約前に作成されており、(ii)仕様書に精度管理項目の記載があり、(iii)その精度管理項目の内容を選定基準としている、の3条件を満たしている場合 仕様書の作成は市区町村でも可であり、各検診機関はその施設の実情を記入することで仕様書を完成させること
		② 全ての委託検診機関に、県/市の指導要領等を契約前に渡すことで仕様書の代わりとしている市区町村においては、その指導要領等に精度管理項目の記載がある場合
		③ 県(生活習慣病管理指導協議会等)と委託契約している検診機関を利用している市区町村においては、契約条項中の精度管理項目を把握している場合
		④ 検診機関が一箇所しかない或いは直営のため選定の必要がないという市区町村においては、検診精度管理項目について記載した何らかの書類がある場合
	×	上記①～④以外の場合 過去一回だけ(検診機関との契約時)に仕様書を取り交わしたが、その後内容の点検/更新を実施していない場合

回答欄

前問Q10-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q10-1-1

仕様書に必須の精度管理項目を明記させているか

回答例	○	「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書(平成20年3月)」に記載された「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」 ^{※5} の全項目が含まれている場合 ※5) 別添【参考資料】参照 一部の項目の解釈については下記をご参照下さい <ul style="list-style-type: none"> ➢ 撮影機器の種類を明らかにする 原則として間接撮影で10日×10cm以上のフィルムでI. I.方式とする ➢ 造影剤の使用に当たってはその濃度を適切に(中略)保つとともに、副作用の事故に注意する <ul style="list-style-type: none"> → レントゲンの撮影機器の種類、撮影体位、撮影方法、枚数については日本消化器がん検診学会の方式(変法も含む)によって実施されていればよい ➢ 問診記録・検診結果は少なくとも5年間は保存する <ul style="list-style-type: none"> → この調査においては、3年間の保存でもよい ➢ 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせる ➢ 精密検査の方法や内容について説明する <ul style="list-style-type: none"> → 検診受診者全員に対する説明は、口頭・説明会・リーフレット等でもよい ただし、要精密検査となった受診者に対しては、精密検査の方法、内容について個別に説明する
		×

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

Q11

胃がん検診の対象年齢をお教えてください。

該当するものに をつけてください。②の場合は年齢を、③その他の場合は具体的にご記入ください。

- ① 40歳以上全員（指針どおり）
- ② _____ 歳 以上 _____ 歳まで全員（上限については設定している場合のみ記入）
- ③ その他

Q12

Q1-1) 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成しているか }
 Q1-2) 対象者に均等に受診勧奨を行っているか } の質問に○と回答された方にお伺いいたします。

受診勧奨に応じなかった対象者全員へ、年度内に再度の受診勧奨を個人別に行っていますか？該当するものにひとつ をつけてください。

- 未受診者に対し全員に個人別に行っている
- 行っていない/その他の方法*で行っている

※) 未受診者のうち対象を絞って行っている、受診者数が定員に満たない場合のみ、広報・チラシ・イベントによる周知等を含む

ご協力ありがとうございました。
 よろしければ下記質問にもご回答ください。

【質問 A】平成 22 年度(平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)内に、胃がん検診の検診体制もしくは事業評価について、都道府県から何かの助言・指導を受けられましたか？ もし助言・指導を受けられた場合は、その時期・内容についてお教えてください。

他がんの調査票に記入されたものと同じ場合はを付けてください ⇒

【質問 B】胃がん検診の体制を改善するため、平成 23 年度からの新たな取り組みはありますか？ もし取り組みがある場合は内容を具体的にお教えてください。

他がんの調査票に記入されたものと同じ場合はを付けてください ⇒

< ご意見等ございましたらご記入ください >

平成23年度

「チェックリストの使用に関する実態調査」調査票

大腸がん検診

- ◆ 大腸がん検診チェックリストにご回答いただく前にお伺いいたします。下記質問について該当するものに☑をつけてください。

【質問1】 大腸がん検診を実施していますか？

- 実施している
- 実施していない*

【質問2】 集団検診を実施していますか？

- 集団検診のみ実施
- 集団/個別検診を両方実施
- 個別検診のみ実施*

※を選択された場合、次ページ以降のご回答は必要はありません。下記署名欄をご記入の上、同封の返信用封筒にてご返送ください。

平成23年度大腸がん検診(集団検診における便潜血検査)の体制について、次ページよりご回答をお願いいたします。ご回答は最終ページまで空欄のないようご記入ください。署名欄も忘れずにご記入ください。

ご署名欄

(他がんの調査票に記入された担当者様と同じ場合はご記入は不要です。)

都道府県名: _____	市区町村名: _____
ご所属: _____	ご氏名: _____
TEL: _____	E-mail: _____
通信欄: _____	

指針以外の検査方法のみで実施されている場合、又は個別検診のみ実施されている場合にはご回答は不要です。

平成23年度「チェックリストの使用に関する実態調査」調査票 ＜大腸がん検診＞

以下、全ての質問項目に、「○」または「×」でご回答ください
Q1-1、Q1-2、Q9-1では、○の場合は該当番号もご記入ください

Q1-1 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成しているか ○の場合は下記 ①～④のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 40歳以上の住民全ての名簿が何らかの形(紙台帳、パソコンファイル)で存在する場合 (対象者名簿は定期的に更新し、転入転出、死亡等最新の住民情報を把握する必要がある)
		② 住民基本台帳と連動した保健基幹システム等を利用している場合には、40歳以上の <u>住民全て</u> を抽出して対象者名簿に記載している場合
		③ 上記①②において、職場検診等の受診機会があることが 明らかな者 のみ対象者から除外している場合 (少なくとも国保加入者は全員名簿化している、など)
		④ 対象者名簿の作成を外部委託している場合では、その作成方法/内容について市区町村が把握し、①～③のいずれかを満たしている場合 【上記①～③のどのケースに該当するかもお書き下さい 例:回答欄 ○ 番号 ④(①)】
		× 上記①～④以外の場合 前年度受診者や希望者のみ名簿化している場合

回答欄	番号
-----	----

前問Q1-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q1-2 対象者に均等に受診勧奨を行っているか ○の場合は下記 ①～③のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 対象者個人毎 に手紙・電話・訪問等で案内(検診の通知)を行っている場合 (世帯毎ではなく 、対象者全員に行なっている場合)
		② 世帯毎 に手紙・電話・訪問等で案内(検診の通知)を行っている場合 (対象者全員の名前は示しているが、世帯に一通郵便(通知)等を送る場合)
		③ 希望調査を受診勧奨の代わりとしている市区町村においては、 対象者全員 或いは 世帯別(対象者全員の名前を記載) に希望調査を実施している場合
	× 上記①～③以外の場合 広報/チラシでの周知や、 対象者となる全員の個人名の記載がない 各世帯宛の案内、また、節目検診等で対象年齢を制限して勧奨している場合	

回答欄	番号
-----	----

Q2-1 対象者数(推計含む)を把握しているか

回答例	○	① 網羅的な対象者名簿があり、名簿を基に対象者数を把握している場合(実測値)
		② 前問「Q1-1」で定義した対象者名簿がなく、国立がん研究センター がん対策情報センターのホームページ ^① に掲載された計算式や、抽出住民へのアンケート等(国民生活基礎調査、国勢調査、県独自の調査)により対象者数を算定している場合(推計値)
	× 上記①②以外の場合	

注) 別添「チェックリスト(調査票)に対する解説一覧」参照

回答欄

Q2-2 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか

回答例	○	① 前問「Q1-1」の網羅的な対象者名簿に、個人毎に、検診受診の有無・検診結果・精検結果を記入している場合(紙台帳でもパソコン台帳でも可) また、対象者名簿がなく、受診者のみを記録する受診者台帳を作成している市区町村においても、 個人毎 にこれらの項目が記入されている場合
		② 委託先検診機関等が受診者台帳を作成している市区町村においては、委託先検診機関全ての受診者台帳について、 個人毎 の検診受診の有無・検診結果・精検結果の記録様式になっていることを確認している場合
	× 上記①②以外の場合	

回答欄

前問Q2-2が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q2-2-1 受診者数を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関において</u> 、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
×		上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-2-2 受診者数を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関において</u> 、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
×		上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-2-3 受診者数を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

回答例	○	① 受診者数を前問「Q2-2」の受診者台帳を基に集計している場合
		② 委託先検診機関等が受診者数を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関において</u> 、上記の受診者台帳を基に集計されている場合
×		上記①②以外の場合 個人別の受診歴台帳に基づいた集計以外の場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q2-3 過去3年間の受診歴を記録しているか

回答例	○	① 市区町村において、 <u>個人毎の過去3年間の受診情報が把握できる場合</u> (当該年度に初めて受診した者については除く)
		② 委託先検診機関等が把握している市区町村においては、 <u>全ての機関で個人毎の3年間の受診情報が把握でき、かつその情報提供を受けている場合</u> (当該年度に初めて受診した者については除く)
×		上記①②以外の場合 1~2年分の受診歴のみの場合 また、 <u>問診(受診者の申告)</u> で受診歴を把握している場合

回答欄

Q3-1 要精検率を把握しているか

回答例	○	「要精検者数」だけではなく「要精検率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
×		上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q3-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q3-1-1 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
×		上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

前問Q3-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q3-1-2 要精検率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
	○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q3-1-3 要精検率を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
	○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合 (全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q3-2 検診実施機関における便潜血検査キット名を把握しているか

回答例	○	全ての委託検診機関で使用されている便潜血検査キット名を把握している場合
	×	上記以外の場合

回答欄

Q4-1 精検受診率を把握しているか

回答例	○	「精検受診者数」だけでなく「精検受診率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
	○	① 市区町村において把握している場合
	○	② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q4-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q4-1-1 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
	○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q4-1-2 精検受診率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
	○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q4-1-3 精検受診率を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
	○	② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合 (全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q2-2「個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか」の回答が「×」の場合、下記5つの質問は「×」と記入してください

Q4-2 精検未受診率を把握しているか

回答例	○	① 市区町村が、(i)「精検受診」「未受診」「未把握」の定義 ^{※1} に従って未受診者を把握し、(ii)さらに未受診率を集計している場合 両条件が必須
		② 外部機関(委託先検診機関・県的生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} 未受診率を集計している市区町村においては、 <u>全ての機関で</u> ①(i)の定義により未受診者を把握し、かつその情報提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 特に、 <u>精検受診者数と精検未受診者数は表裏の関係にはない</u> ^{※3} ので要注意

注) 別添「チェックリスト(調査票)に対する解説一覧」参照

回答欄

Q4-3 精検未受診者に精検の受診勧奨を行っているか

回答例	○	① 精検未受診者個人を全員特定し、個人宛に勧奨している場合
		② 委託先検診機関等が精検未受診者への勧奨を実施している市区町村においては、 <u>全ての機関において、精検未受診者全員へ</u> 勧奨している場合
	×	上記①②以外の場合 精検未受診者個人宛の勧奨ではなく、広報やチラシ等による周知のみの場合

回答欄

Q5-1 精密検査結果及び治療の結果報告を精密検査実施機関から受けているか

回答例	○	精検受診者 <u>全員</u> の結果を回収するためのシステム ^{※3} が確立している ^{※4} 場合 回収方法 例1) 精検機関から直接市区町村へ報告 例2) 検診機関が精検/治療結果について取りまとめ、市区町村に報告 例3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会への問い合わせ
		×

回答欄

Q5-2 過去3年間の精密検査結果を記録しているか

回答例	○	① 市区町村において、受診者台帳より個人毎の過去3年間の精検結果が把握できる場合
		② 委託先検診機関等が把握している市区町村においては、 <u>全ての機関で個人毎の過去3年間の精検結果が受診者台帳より</u> 把握でき、かつその情報提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 1~2年分の精検結果のみの場合

回答欄

Q5-3 精密検査の検査方法を把握しているか

回答例	○	精検を受診した <u>全員</u> についての精検方法を個人毎に把握する体制が確立しており ^{※4} 、台帳に記録している場合 把握方法 例1) 精検機関から直接市区町村へ報告 例2) 検診機関が精検方法を取りまとめ、市区町村へ報告 例3) 精検機関以外(医師会、受診者等)からの報告、または医師会や受診者への問い合わせ
		×

回答欄

※1) 受診歴別:初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること
 ※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
 精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様
 ※3) 精検日・受診機関・精検/治療結果の収集方法、これらの結果が届かない場合の確認方法を指す
 ※4) 精検結果/精検方法の未把握率が5%以下であること
 (がん検診事業評価委員会報告書 別添資料「事業評価指標数値一覧」より また、この場合の未把握率は、同報告書 P38 の定義によるもの)

Q6-1 がん発見率を把握しているか

回答例	○	「発見がん数」だけでなく「がん発見率」を、下記①②のいずれかにより把握している場合 ① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q6-1が「×」の場合、下記3つの質問の回答は「×」と記入してください

Q6-1-1 がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q6-1-2 がん発見率を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q6-1-3 がん発見率を過去の検診受診歴^{*1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-1 早期がん割合(発見がん数に対する早期がん数)を把握しているか

回答例	○	「早期がん数」だけでなく「早期がん割合(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合 ① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q7-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q7-1-1 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{**2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

前問Q7-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q7-1-2 早期がん割合を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-1-3 早期がん割合を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか
Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q7-2 粘膜内がんを区別しているか

回答欄

Q8-1 陽性反応適中度を把握しているか

回答例	○	「発見がん数」だけではなく「陽性反応適中度(率)」を、下記①②のいずれかにより把握している場合
		① 市区町村において把握している場合 ② 外部機関(委託先検診機関・生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が把握している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 また、データベース上「率」の集計が可能であるが、実際に集計はしていないという場合も含む

回答欄

前問Q8-1が「×」の場合、下記2つの質問の回答は「×」と記入してください

Q8-1-1 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しているか

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合 年齢区分が5歳階級別以外の場合

回答欄

Q8-1-2 陽性反応適中度を検診機関別に集計しているか (検診機関が1箇所のみ・直営の場合は○と回答してください)

回答例	○	① 市区町村において集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合
	×	上記①②以外の場合

回答欄

※1) 受診歴別:初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供を受け、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様

前問Q8-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q8-1-3

陽性反応適中度を過去の検診受診歴別^{※1}に集計しているか

Q2-3「過去3年間の受診歴を記録しているか」の回答が「×」の場合も、この質問は「×」と記入してください

回答例	○	① 市区町村において個人毎の受診歴を把握し、集計している場合
		② 外部機関(委託先検診機関・県の生活習慣病管理指導協議会等) ^{※2} が集計している市区町村においては、そのデータの提供を受けている場合(全ての検診機関で個人毎の受診歴を把握し、集計していることが必須)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

Q9-1

がん検診の集計の最終報告を都道府県に行っているか ○の場合は下記 ①②のうち該当する番号もご記入ください

回答例	○	① 地域保健・健康増進事業報告の記入要領に従って、旧老人保健事業報告で必須だった項目全てが計上できる場合(厚生労働省に直接報告する指定都市・中核市についても同様)
		② 地域保健・健康増進事業報告の記入要領に従って、新たに加わった項目(受診歴別集計、早期がん数等)も全て計上できる場合(厚生労働省に直接報告する指定都市・中核市についても同様)
	×	上記①②以外の場合

回答欄

番号

Q10-1

委託検診機関の選定に際し、仕様書を作成・提出させてそれを基に判断しているか

回答例	○	① 全ての委託検診機関との間で(i)仕様書が契約前に作成されており、(ii)仕様書に精度管理項目の記載があり、(iii)その精度管理項目の内容を選定基準としている、の3条件を満たしている場合 仕様書の作成は市区町村でも可であり、各検診機関はその施設の実情を記入することで仕様書を完成させること
		② 全ての委託検診機関に、県/市の指導要領等を契約前に渡すことで仕様書の代わりとしている市区町村においては、その指導要領等に精度管理項目の記載がある場合
		③ 県(生活習慣病管理指導協議会等)と委託契約している検診機関を利用している市区町村においては、契約条項中の精度管理項目を把握している場合
		④ 検診機関が一箇所しかない或いは直営のため選定の必要がないという市区町村においては、検診精度管理項目について記載した何らかの書類がある場合
	×	上記①～④以外の場合 過去一回だけ(検診機関との契約時)に仕様書を取り交わしたが、その後内容の点検/更新を実施していない場合

回答欄

前問Q10-1が「×」の場合、この質問の回答は「×」と記入してください

Q10-1-1

仕様書に必須の精度管理項目を明記させているか

回答例	○	「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書(平成20年3月)」に記載された「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」 ^{※5} の全項目が含まれている場合 ※5) 別添【参考資料】参照 一部の項目の解釈については下記をご参照下さい <ul style="list-style-type: none"> ➢ 検体受領後原則として24時間以内に測定する → 離島ないし遠隔地では24時間を過ぎててもかまわない ➢ 問診記録・検診結果は少なくとも5年間は保存する → この調査においては、3年間の保存でもよい ➢ 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に明確に知らせる ➢ 精密検査の方法や内容について説明する → 検診受診者全員に対する説明は、口頭・説明会・リーフレット等でもよい ただし、要精密検査となった受診者に対しては、精密検査の方法、内容について個別に説明する
		×

回答欄

※1) 受診歴別: 初回受診者(過去3年間に受診歴がない者)及び、逐年受診者等を別集計すること

※2) 委託先検診機関が複数ある場合は、全ての検診機関からデータ提供をうけ、市区町村としての要精検率を把握できていることが必須
精検受診率・発見率・早期がん割合・陽性反応適中度でも同様